



PRESERS⁺



Medical Treatment Care

Body, Probe Spec



Body Spec

1. Probe : 4set
2. 15inch Touch TFT-LCD
3. CPU : Intel Atom, 1.8GHz
4. RAM : 2GB
5. SSD HDD : 16GB
6. OS : WIN-7 Embedded
7. Size : 354 × 460 × 1,210(mm)

Probe Spec

1. 200mW × 12ea, 4秒
2. 50mW × 12ea, 4秒
3. Micro Controller Unit,
温度センサー適用
4. Size : 81 × 157 × 31 (mm)

レーザーの強度と医学的な用途



Low Level – 赤 [658nm/50mW]	Middle Level – 赤外線[808nm/200mW]
<ul style="list-style-type: none">*細胞レベルの生理活性化*細胞の生理機能の刺激、再生促進、代謝促進など	<ul style="list-style-type: none">*痛み抑制、炎症の除去、浮腫の除去など、理学療法の効果*脂肪細胞の液化
<ul style="list-style-type: none">*主に生理的な効果 (機能刺激、代謝および再生促進)*浸透の深さは2~3cmであり深くない。*主に表面の皮膚、皮下脂肪、静脈血に適用。	<ul style="list-style-type: none">*主に温血効果(鎮痛、消炎)*浸透力が優れており、深部組織の治療に有用。*主に深部の筋肉、骨などに適用。

レーザーに4つの機能を適用

Probeの特徴(他社の製品との比較)



他社の製品



当社の製品



1. 레이저의強度と、出力の均一性を維持(ユーザーマニュアル、運用方法のプログラムにより調整)
2. 프로브を一本化して(50mW、200mWを一箇所に集約)、より高い効果を発揮できるように開発

特許出願

2013年2月 - 機器

2013年11月 - 運用方法

PRESER-S 他社の製品との比較



※妊娠線は、治療時期が治療効果を左右する

	PRESER-S	RF(高周波), IPL, レカット
疼痛	まったくない (無害)	痛みがひどい(麻酔クリームを使用) - 出産直後、授乳期間中の使用不可
治療期間	最長で35日	6ヶ月
治療開始	出産後すぐ (産後院から使用)	通常1年以上経過した後
費用	産後院の費用と連動	1回30万ウォン以上
専門人材	必要なし (自動セッティング)	必要

産後院に入院中から使用



◇産後院に入院中から施術を受けなければならない理由

妊娠線は人の体質と管理方法によって、細い妊娠線ができたり、太い妊娠線ができたり、あるいは全くできない場合もあります。

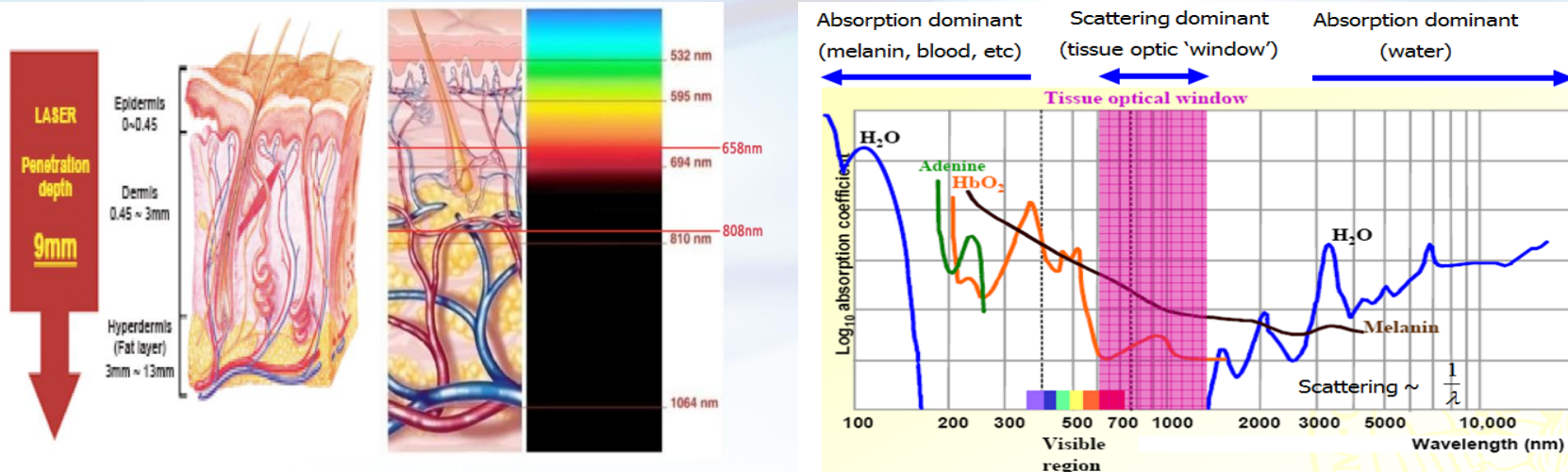
しかし、妊娠線の有無にかかわらず、内部の脂肪層、真皮層はほとんど裂け、妊娠前の健康な体に回復するには通常6ヶ月程度かかります。

産後院でプリーザーを使用すると、真皮層を光で刺激して皮膚細胞の再生を促進させ、肌の色とキメを改善します。セルライトは減少し、血流改善と酸素供給の増加により毒素が減り、産後のむくみが早く改善します。

また、妊娠線がある場合は、皮膚の弾力性を改善することで迅速な回復が期待できます。また、痛みの軽減にも優れた効果を示しています。

※人体に無害なので、産後院にいる期間中、毎日使用いただいても全く問題はありません。

医学的な用途



本製品は、レーザーで皮膚の真皮層を光で刺激することにより、皮膚細胞の再生を促進して肌の色とキメを向上させます。また、真皮層の繊維芽細胞を刺激して、コラーゲンとエラスチンの生成を増加させる原理を適用しました。肌の表面に現れたトラブルの治療だけではなく、皮膚の血流自体を改善し、酸素供給を増加させることで、肌の毒素を除去するため、皮膚の血気が根本的によみがえります。このような原理で、皮膚のしわとStretch Marksの改善、肌の色やキメ改善はもちろん、老化防止にも役立ちます。

※妊娠線治療には、真皮層の再生が必須です。

テスト結果



30代、2人目出産の1年後。週2回、4週間



30代、双子出産の6ヶ月後。週2回、4週間



テスト結果



10代、週2回、2週間

①



②



③



④



テスト結果



30代、2人目出産の5ヶ月後。週2回、3週間



30代、出産直後(産後院)。3回



テスト結果



30代、2人目出産の1年後。週2回、3週間



テスト結果



30代、出産2年後。週2回、3週間



30代、出産10年後。計2回



テスト結果



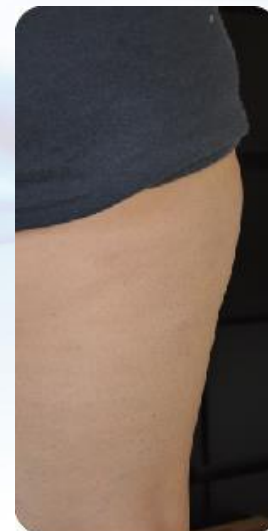
30代、出産6ヶ月後。週2回、3週間



テスト結果



30代、週5回、1週間



テスト結果(アメリカ)



30代、出産1年後。週2回、3週間



30代、出産1年後。週2回、3週間



テスト結果(アメリカ)



30代、出産2年後。週2回、4週間



30代、出産9ヶ月後。週2回、4週間



テスト結果(アメリカ)



60代。週2回、4週間



40代。週2回、4週間



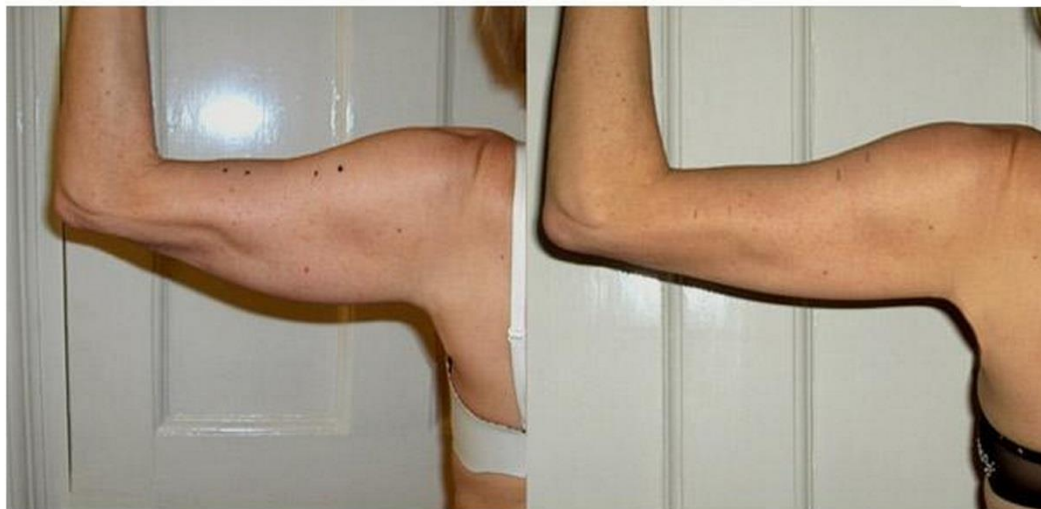
テスト結果(アメリカ)



40代。週2回、4週間



30代。週2回、4週間



60代。週2回、4週間

[運動と食事療法を積極的に並行]

テスト結果(アメリカ)



週2回、6週間(運動と食事療法を積極的に並行)



テスト結果(アメリカ)



週2回、6週間(運動と食事療法を積極的に並行)



テスト結果



PRESEER-Sの原理



50mW Low Label (658nm) のレーザーは、細胞の生理活性化と刺激、再生促進、代謝促進に効果があり、浸透の深さは約2~3cm程度です。

200mW Middle Label (808nm) のレーザーは、赤外線波長で浸透力が優れており、脂肪細胞の液化、温熱効果、そして痛みの抑制や炎症の除去、浮腫の除去など理学療法の効果まで、同時に治療することができます。

LEDを利用した肥満治療機器は、価格が手頃ですが、光の散乱により効果が著しく低下します。一方、半導体ダイオードは、光の散乱がほとんどなく、肌への浸透に優れ、セルライトを溶解し、真皮層への刺激がより画期的なので、高い効果がみられます。

また、製品の寿命と一定の出力値を保つ部品の安定性を確保するために、デバイスが持っている最大出力値の70%程度のみ使用しています。

2種類の異なる波長帯と出力値により、既存の短波長、低出力のレーザーダイオード方式に比べて、肥満の治療はもちろん、妊娠線としわの改善効果にも優れた効果を見ることができます。

PRESEER-Sは、コラーゲン細胞とエラスチン細胞を活性化させ、妊娠線やしわを改善し、脂肪(セルライト)を分解して、美しい体型を作る手助けをする、人体に無害な新概念の医療機器です。

本製品は、既存の侵襲的な製品でみられるような疼痛が全くなく、半導体ダイオードを使用し、紫外線や赤外線の光を利用して治療をするので人体に無害で、侵襲式に比べて治療期間が比較的非常に短いのが特徴です。